株式会社永野商店 代表取締役社長 永野順也

「もっとリサイクル!」を合言葉に 地球環境と地域環境の共存を目指して

リターナブル事業とマテリアルリサイクル事業で脱炭素に貢献 「再生可能エネルギー事業 | でクリーンエネルギーの地産地消を実践

株式会社永野商店は、創業より長年培ってきた古紙類をはじめとした「廃棄物再生技術」で、熊本の恵まれた自然を守り、人と共生できる環境づくりに貢献しています。

私たちの「廃棄物を無駄にしない環境保全業務」は収集から処分まで多岐に渡ります。

「廃棄物収集」では、「品目ごとの分別収集」やそれらをリサイクルへ導く3R (スリーアール) 推進。「廃棄物処理 | では、お預かりした未利用資源を「廃棄から再生 | へ。

私たちは株式会社永野商店は地球環境と地域環境の共存を目指しています。

もっと、あたらしい価値へ。



株式会社 永野商店





環境事業を通じ「カーボンニュートラル/脱炭素社会の構築」を実現

私たち永野商店は、環境事業を通じ「CO2ゼロエミッション化の実現」に貢献しています。 「未来へつなげる再生可能エネルギー」を推進し、RE Actionの実践で「脱炭素社会の構築」に寄与します。

- ・古紙類をはじめとした創業以来の事業継続で、「循環資源原料」をとして、リターナブル瓶・古紙リサイクルの「素材再生」で環境貢献します。
- ・太陽光発電を段階的に導入し、2030年までに中間目標40%達成を目指します。自家発電・消費及び蓄電設備を拡充し「再エネ100」を推進します。
- ・バイオガス(メタン発酵)で発電した再生電力を農業分野や蓄電池に蓄えて防災・BCP対策に使用し、災害対応にも貢献します。
- ・計用車はEVに順次切り替えます。



リターナブル瓶



古紙リサイクル(製紙原料)



西部事業所 熊本西部バイオガス発電所 (2025年4月稼働予定)

熊本西部第2太陽光発電所 (2025年4月以降計画中)